

環境に関する県民意識調査（令和5年度）

1 調査目的

環境政策のマスタープランとして策定している「えひめ環境基本計画」について、現行計画である第三次計画が令和6年度末をもって終了することから、次期計画となる第四次計画の策定に着手することとしている。

この第四次計画に県民の環境に対する意識を反映させ、より充実した内容とするため、環境に対する県民の意識について調査・把握を行う。

2 調査方法等

- ・実施期間：令和6年2月6日～2月16日
- ・実施場所：Web上（愛媛県政課題調査）
- ・回答数：400

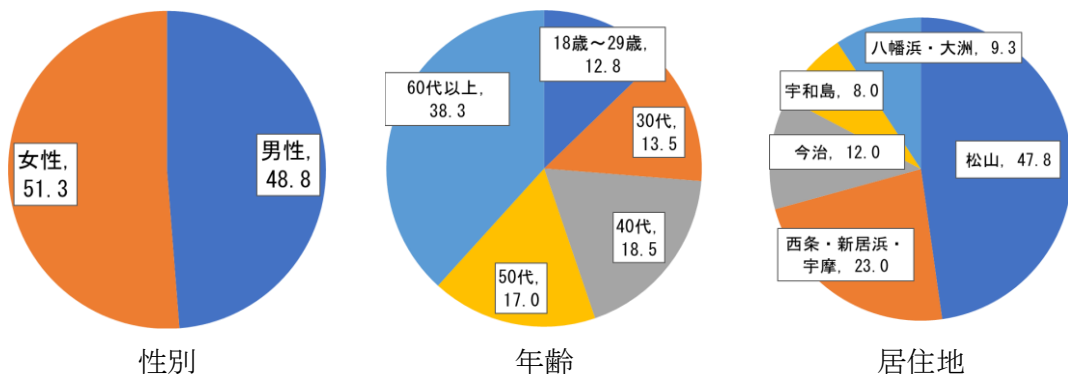
3 調査結果

- 愛媛県の環境に対して、多くの県民が美しい海（54.8%）や山並み（41.8%）などの自然が豊かであるイメージを持つ一方で、将来的には美しい町並みの保全（8.5%→22.3%）や環境に配慮した産業活動が盛んになること（2.3%→16.8%）を望む県民が多い。
- 61.8%の県民が環境に非常に関心がある・ある程度関心があると回答し、中でも地球温暖化（69.8%）や食品ロス（36.5%）、海・河川等の水質汚濁（33.3%）、プラスチックごみ問題（32.5%）などの近年深刻化している環境問題に関心を持つ県民が多い。
- 日常生活における環境に配慮した行動をしている県民は51.8%にとどまっており、県民の行動変容につながる取組が必要であるが、消灯などの節電（74.8%）やマイバッグの持参（69.0%）、冷暖房の適切な温度設定（60.3%）などの生活に密着したものの中で環境への配慮を心がけている状況がうかがえる。
- 日常生活における環境に配慮した行動をしていない理由として、どうすればいいのかわからないとの回答が27.0%であり、さらなる情報発信が必要となっている。
- 地球環境の保全のための重要な取組については、太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入等の促進と答えた人の割合が52.0%、家庭や自動車等からの温室効果ガス排出量削減対策の推進が44.0%、事業活動における温室効果ガス排出量の削減対策の推進が40.8%、二酸化炭素吸収源としての森林整備、都市緑化等の推進が36.3%となっており、地球温暖化防止のため県民総ぐるみで様々な取組を実施していくことが重要と考えていることがうかがえる。
- 生活環境の保全のための取組については、大気汚染の環境基準の達成と答えた人の割合が41.0%、海や川などの水質にかかる環境基準の達成が38.0%、工場、事業場からのばい煙、排水処理等の適正化が32.5%、生活排水対策の推進が30.0%となっており、水質や大気の汚染防止に対する関心が高くなっている。
- 循環型社会構築のための重要な取組については、食品ロスの削減等による家庭ごみの減量化、リサイクルの推進と答えた人の割合が53.0%、ごみを適正に処分するための焼却施設や処分場等の整備が36.8%、廃棄物の不法投棄防止対策の強化が35.5%、リサイクル製品の

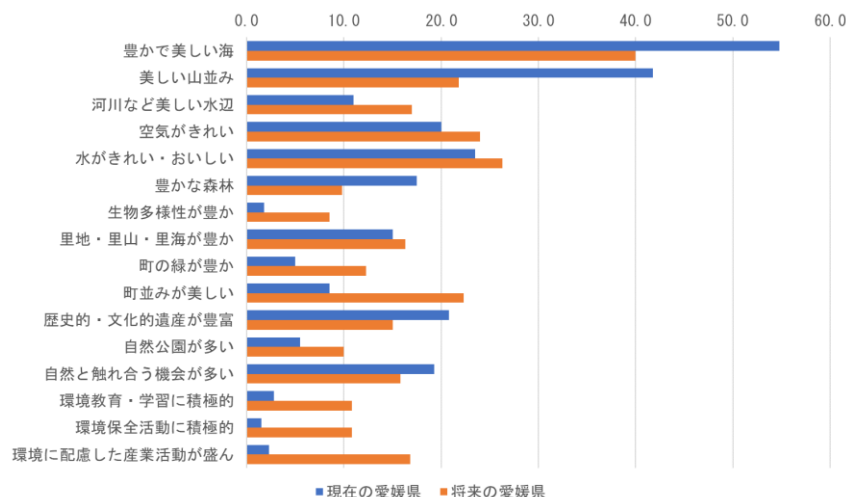
利用促進など資源循環ビジネスの振興が 32.3%、ごみの排出抑制・適正処理に関心が高くなっている。

- 自然環境及び生物多様性の保全のための重要な取組について、自然保護意識の普及啓発と答えた人の割合が 32.8%、環境に配慮した公共事業の実施が 28.5%、里地・里山・里海の保全、再生のための農林水産業の活性化が 27.3%、野生動植物の生息・生育地の保全・回復が 20.8%、自然公園の適正な管理と利用の促進が 20.8%となっており、従来からの自然を守り受け継いでいくことに関心が高くなっている。
- 環境保全活動への参加と協働を促進するための重要な取組については、学校教育における環境教育・学習の充実と答えた人の割合が 52.5%、環境に関する情報の充実が 45.8%、生涯学習における環境教育・学習の充実が 34.3%、環境教育・学習の拠点の整備が 28.0%となっており、環境教育・学習の環境整備を重要と考えている割合が高くなっている。
- 環境と経済が好循環する社会を創造するための重要な取組について、事業者の環境分野における社会的責任活動の定着の促進と答えた人の割合が 47.0%、事業者への環境マネジメントシステムの普及促進が 37.8%、環境保全に関する研究開発への支援が 37.0%、環境関連ビジネスの創出と起業化への支援が 35.0%となっており、事業者の自主的な取組への関心と新たな取組への期待が高くなっている。
- SDGsについては、存在自体を知らないとの回答が 6.5%となっており、多くの県民に認知されている状況がうかがえる。

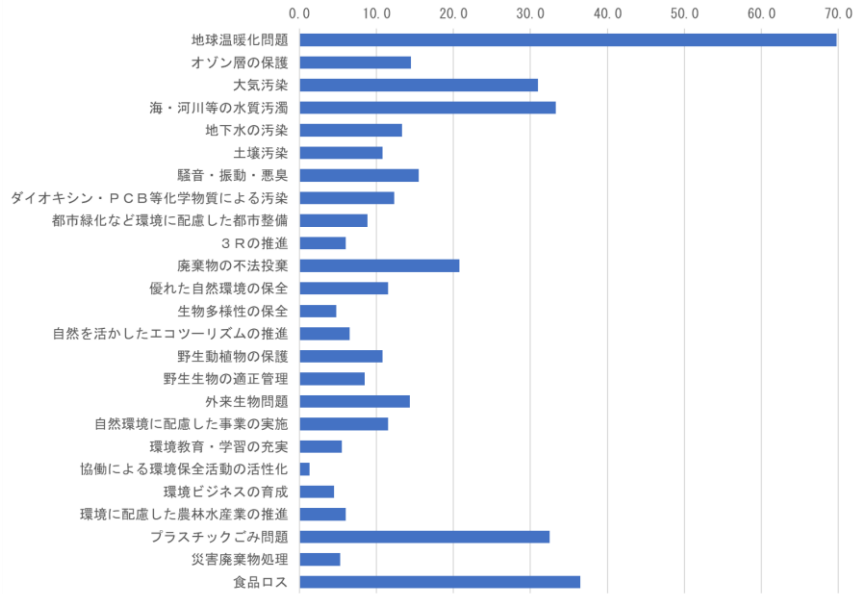
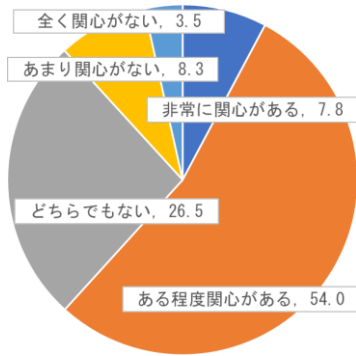
(1) 回答者



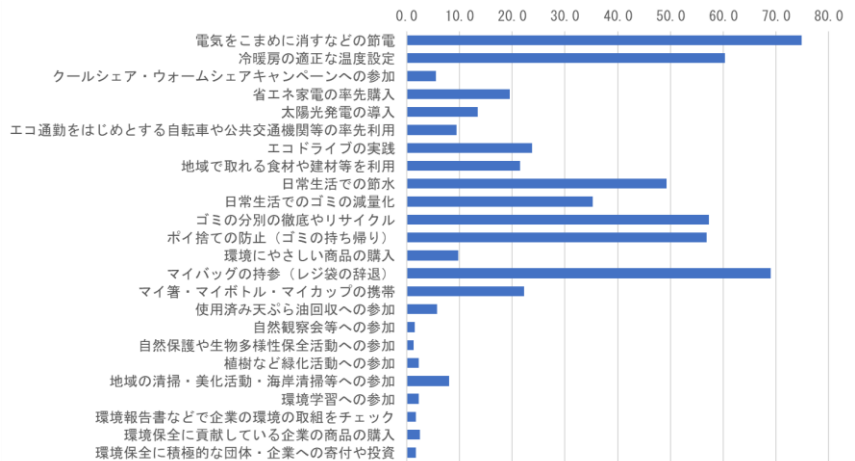
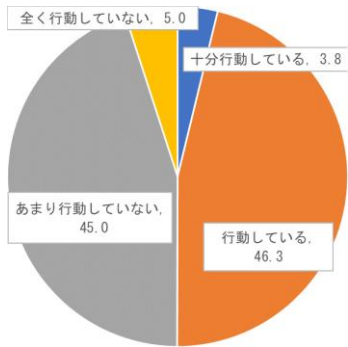
(2) 県民が感じている愛媛県の環境のイメージ（現在と将来なっしてほしいあるべき姿）



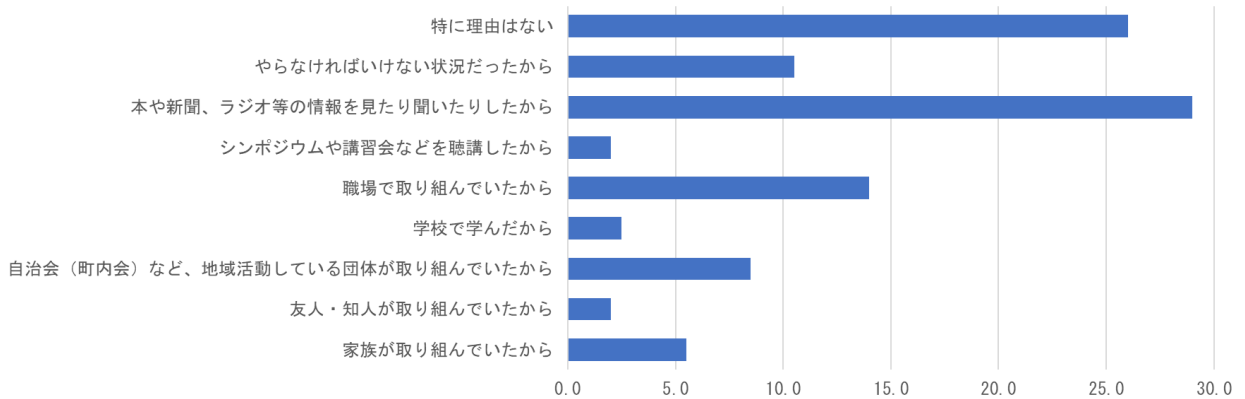
(3) 環境に対する関心



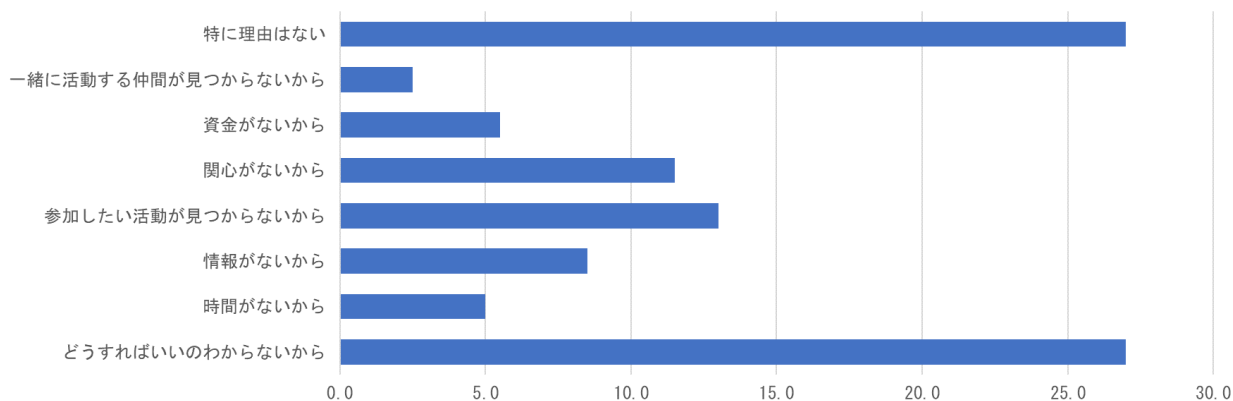
(4) 日常生活における環境に配慮した行動



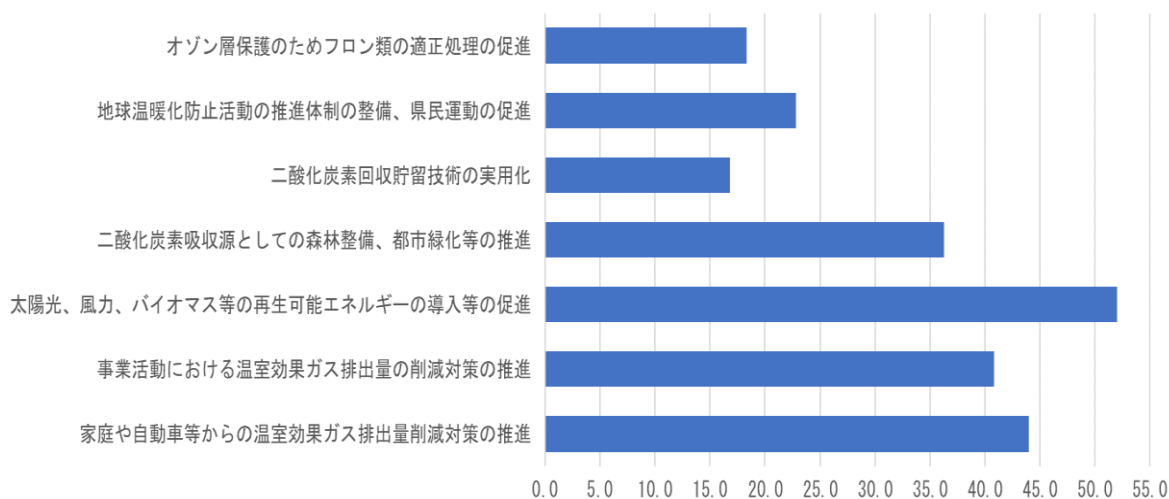
○行動している理由



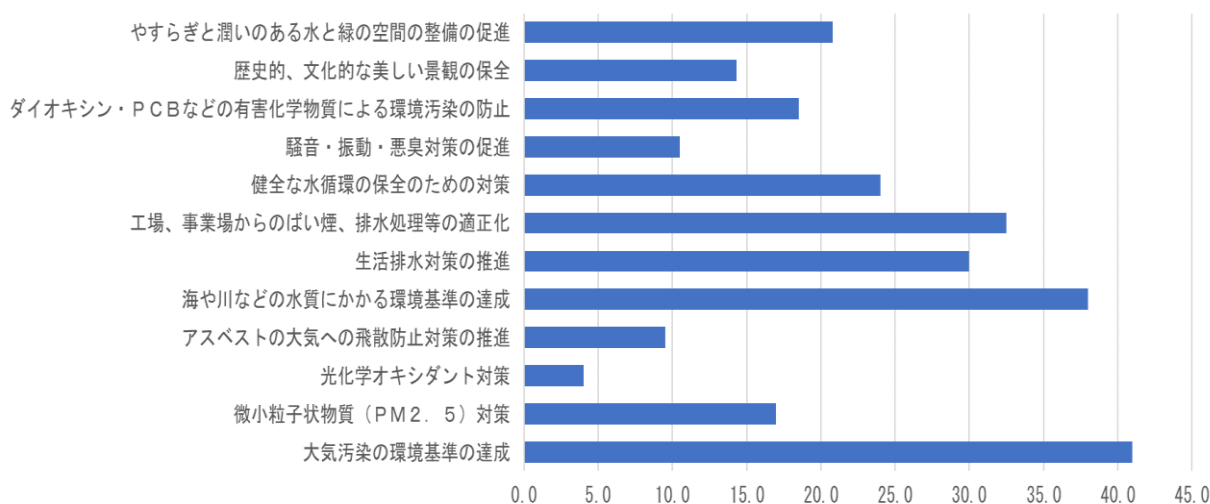
○行動していない理由



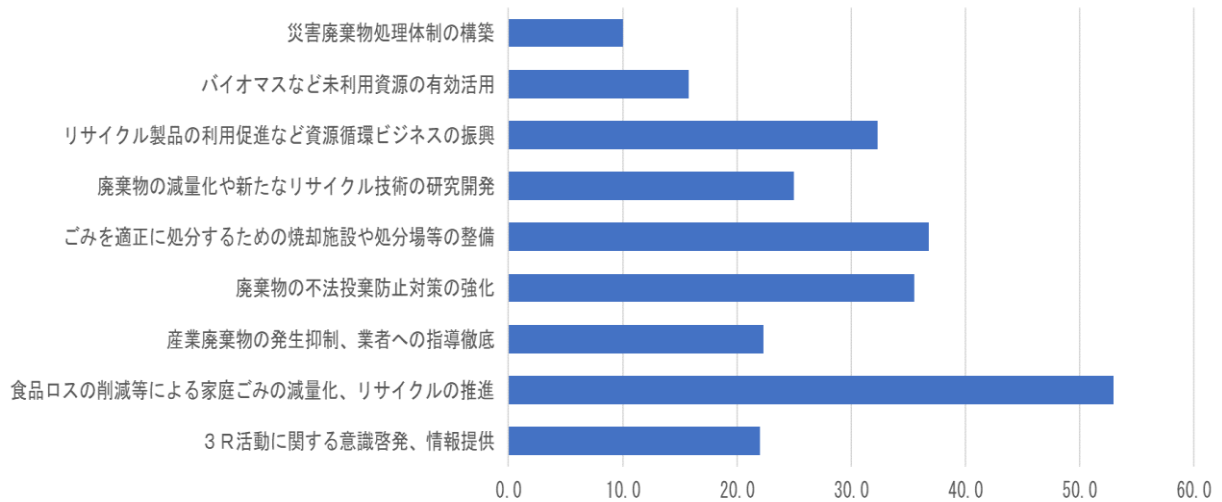
(5) 地球環境の保全のために必要と考える取組み



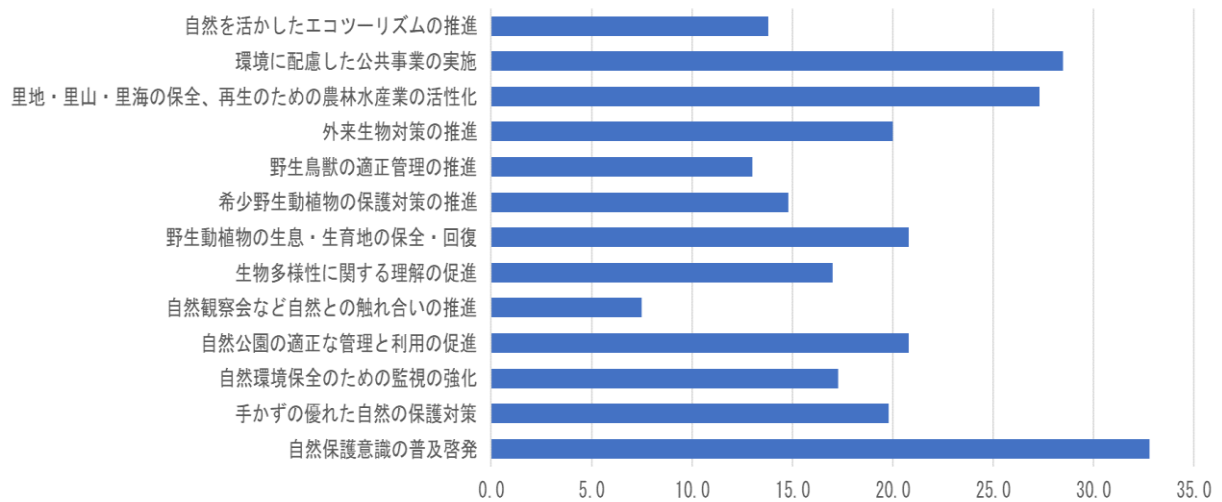
(6) 生活環境の保全のために必要と考える取組み



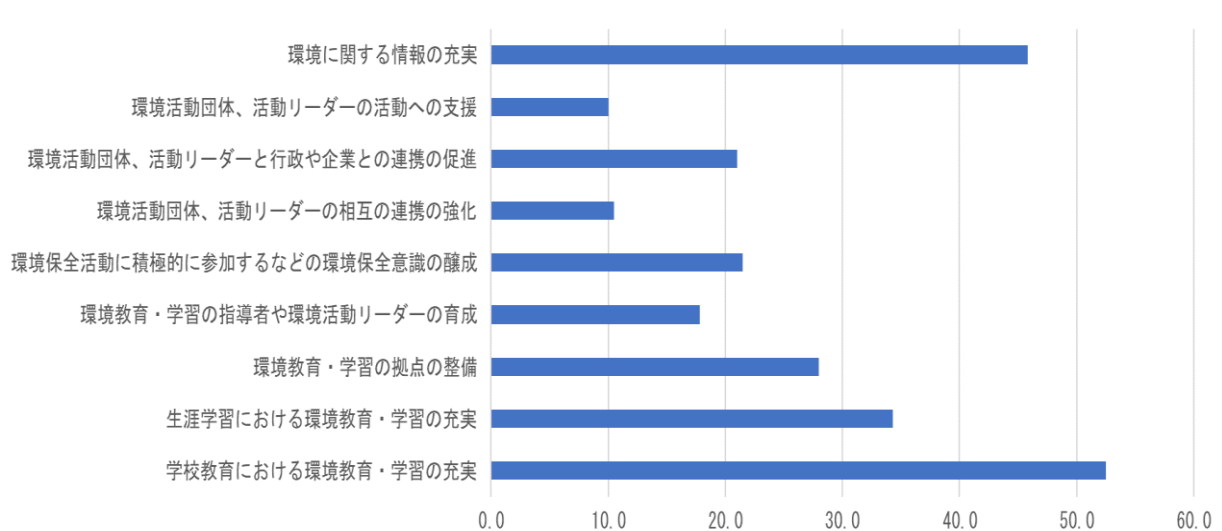
(7) 循環型社会の構築のために必要と考える取組み



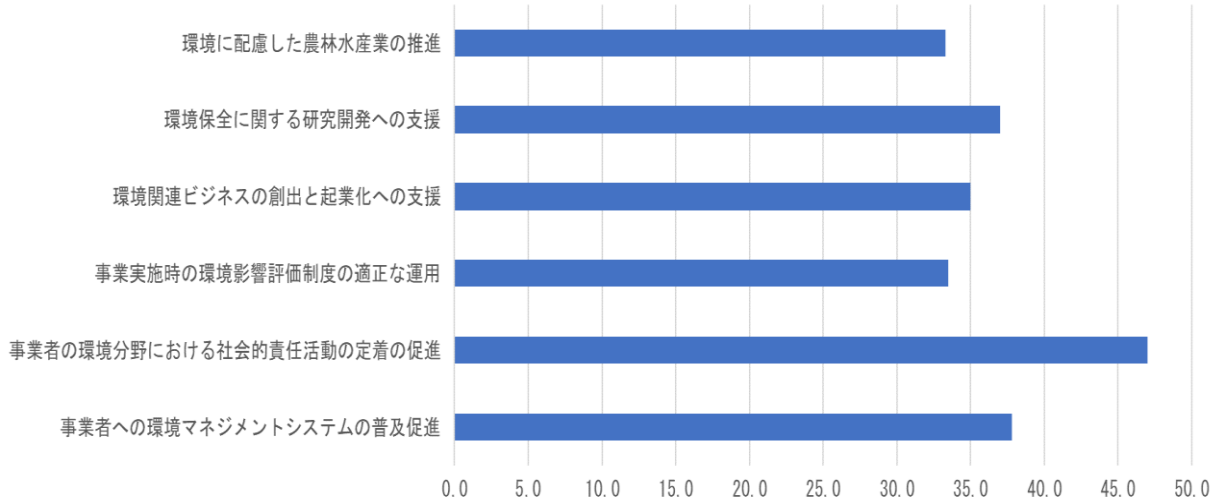
(8) 自然環境及び生物多様性の保全のために必要と考える取組み



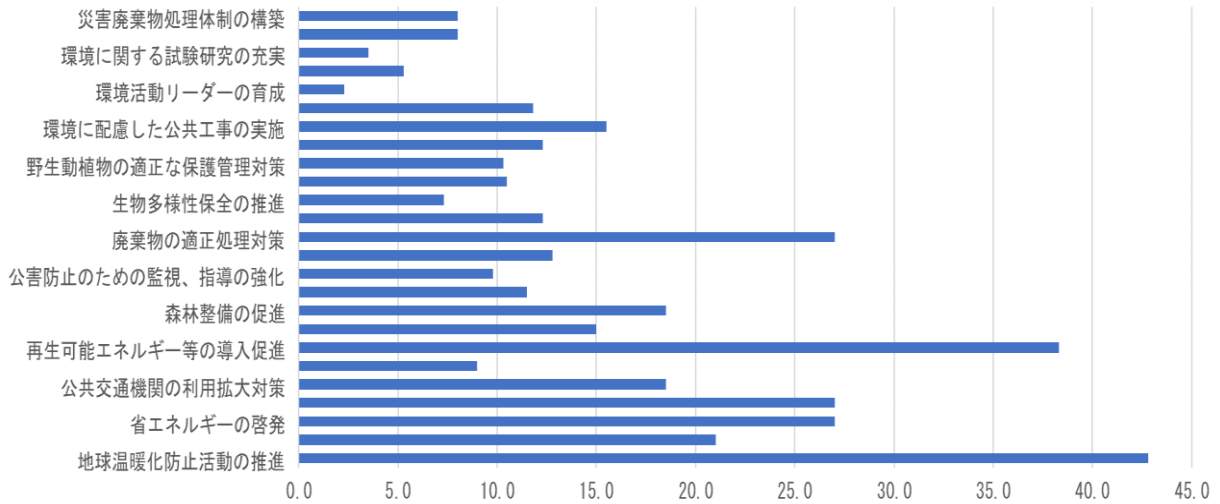
(9) 環境保全活動への参加と協働を促進するために必要と考える取組み



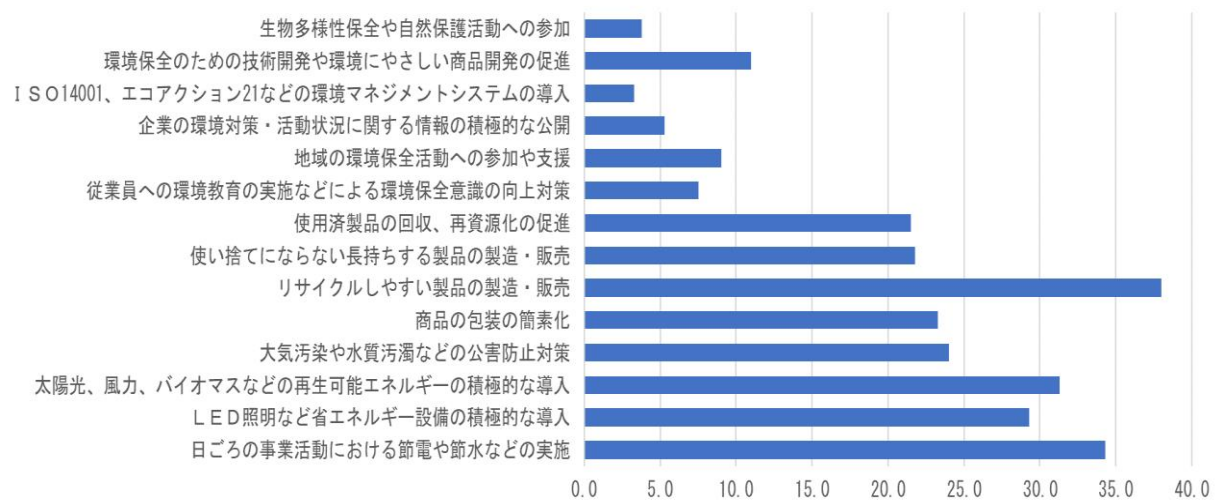
(10) 環境と経済が好循環する社会を創造するために必要と考える取組み



(11) 県内の環境をより良くしていくために、今後、行政に期待すること



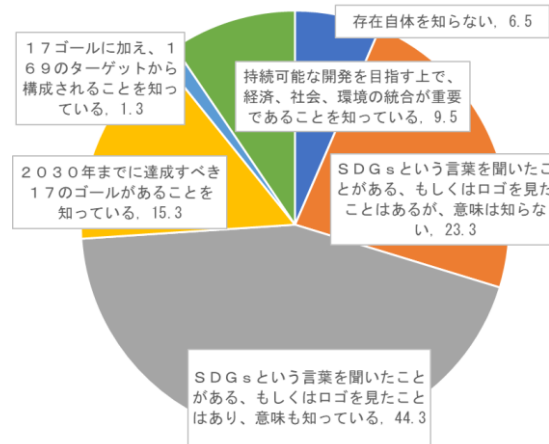
(12) 県内の環境をより良くしていくために、今後、事業者 zu 期待すること



(12) 県内の環境をより良くしていくために、今後、県民が果たす役割



(13) S G D s (エスディーズ) の認知度



(14) 第三次えひめ県基本計画の認知度

